

## 平成20年度図書館情報メディア研究科プロジェクト研究 研究成果報告書

種 目	プロジェクト 研究	国際交流	研究代表者 氏 名	杉本 重雄
研究課題	新しい情報学教育のための国際連携に関する調査			
研究組織（研究代表者及び研究分担者）				
氏 名	所属研究機関・部 局・職	現在の専門	役割分担	
杉本 重雄	図書館情報メデ ィア研究科・教 授	デジタルライ ブラリ	新しい情報学教育のための国際連携に関する 調査	
研究目的				
<p>大学教育の国際化の必要性が強く求められている。本研究科においても以前から国際連携の取り組みを進めてきているが、それをより実質的なものにする必要がある。筆者は、以前から情報学教育における新しい取組について、北米、アジア太平洋地域の情報学大学院の研究者と意見交換の場を作ってきた。本取組では、これまでの取組を基礎として、新しい情報学教育に関する調査を進めるため、北米および東アジア地域から情報学大学院の教員を招き、各地域における情報学大学院における状況の調査と国際連携の方法に関する議論を行う。この取組においては、ピッツバーグ大学（北米）、北京大学（東アジア）から研究者を招く。</p>				
研究成果				
<p>本取組では、ピッツバーグ大学 School of Information Sciences から Ronald Larsen 研究科長、北京大学信息管理系から周慶山教授を招き、さらに予算の効率的利用と代の個人研究費との組み合わせで、タイ・コンケン大学 Kulthida Tuamsuk 副学長、インド・Indian Statistical Institute の K.S. Raghavan 教授を招き、アジア太平洋地域における図書館情報学の教育と実践に関する国際会議（A-LIEP 2009）とも連携し、招聘した研究者と上記会議でのパネル討論を行った。このパネルには、前記4名に加えて、シンガポール・ナンヤン工科大学の Christopher Khoo 准教授、ニュージーランド・ビクトリア大学の Rowena Cullen 准教授がパネリストとして参加し、代表者が司会を務めた。</p> <p>パネルからは、各国の情報学教育の状況が報告され、新しい方向、アジア太平洋地域における情報学教育機関のコンソーシアムに関する意見交換を行った。</p>				
代表的な研究発表・特許等の成果一覧、特記事項等				
<p>アジア太平洋地域における図書館情報学の教育と実践に関する国際会議（A-LIEP 2009）におけるパネル討論（タイトル：Collaboration of Information School in Asian and Pacific Region）</p>				